

私たちは、株主・投資家の皆様から預かった貴重な資金を活用し企業活動を行っています。従って、株主・投資家の皆様に対して、事業を安全かつ効率的に行う責任や、その事業内容を正しく説明する責任を負っています。これらの責任を果たし、信頼関係をより一層深めていきましょう。

1. 会社情報の^{てきじ}適時開示

私たちは、株主・投資家の皆様に対し、事業内容の詳細、特に投資判断にかかわる重要な会社情報を^{てきじ}適時、公平かつ継続的に開示していきます。

- 「ニッポンハムグループ会社情報管理規程」に^{のつと}則り、会社情報を正確かつ^{てきじ}適時に開示できるように^{つと}努めます。
- 非日常的な事象(天災、事故、お得意先の倒産など)が起こった場合は、「重要事項」として速やかに日本ハム(株)コンプライアンス部に報告します。
- 商品異常にかかわる「重要事項」が発生した場合は、日本ハム(株)品質保証部にも速やかに報告します。

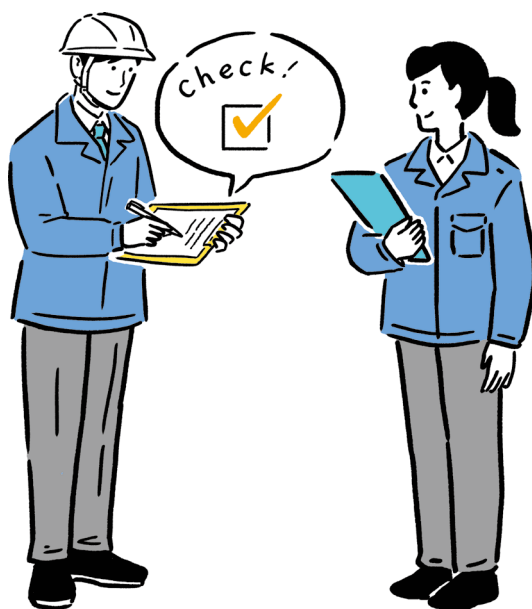


株主・投資家の皆様に対して、組織的・継続的に説明責任を果たしていきます。情報が^{てきじ}適時、公平かつ継続的に伝わらなければ、投資判断に誤りを生じさせ、結果としてニッポンハムグループに対する信用の^{しつぱい}失墜につながりかねません。投資判断にかかわる重要な情報は、株主・投資家の皆様が理解しやすいように、具体的な数値とわかりやすい表現を用いて、すべての株主・投資家の皆様に対し公平に開示します。

2. 正確な記録の作成・報告

私たちは、企業活動に関する情報を、法令や社内ルールに従って日々正しく記録・報告します。

- 仕入れ・製造・物流・販売などの各段階において帳票^{ちやうひよう}などに誤りや偽り^{いつわ}がないよう、法令や社内ルールに従い事実を正確に記録し確認します。また、必要に応じて正しく報告します。
- 記録された情報は、いつでも確認できるよう、期間を定めて適正に保管します。
- 商品の在庫数量、賞味期限を日々確認し、正確な記録・管理を行います。
- 研究や商品開発においても、進捗状況や結果などを正確に記録し管理します。



会社情報の前提は正確な記録です。架空や虚偽^{きょぎ}の帳票^{ちやうひよう}を作成したり、改ざんしたりすることがあってはなりません。現場での記録に誤りや偽り^{いつわ}があれば、株主・投資家の皆様に対して事実と異なる情報を提供することになります。

3. 内部監査の重視

私たちは、会計監査、業務監査、品質監査、環境監査、コンプライアンス状況に関する監査に協力し、業務の品質向上に努めます。

- 監査には、事業所の責任者、管理職、直接の担当者だけでなく、すべての従業員が内部監査の意義を正しく理解し、当然の義務として協力します。
- 監査の指摘事項は、速やかに改善し報告します。



株主・投資家の皆様の利益を守るため、公平な視点から様々な内部監査が実施されます。内部監査でもっとも大切なのは、監査を受ける側がその意義を正しく理解し、前向きに対応し協力することです。従って、監査に対して非協力的な態度や、真実を歪めた説明などは許されません。経営の健全さを保つうえで、内部監査が必要不可欠であるとの認識に立ち、監査がより効果的に実施されるように組織全体で協力します。

重要事項はどのように活用されるのですか？

Q 重要事項として報告した内容は、どのように活用されるのですか？

A 重要事項とは人事労務上の損害、業務上の損害、商品異常、その他法令に抵触する可能性のある事項、社会通念上のトラブルなどになる可能性がある事項のことです。重要事項として報告された内容は、グループの経営に影響を与える事項として、グループ内で共有されます。共有された情報は、各職場の再発防止策の検討などに活用されます。重要事項が発生した場合は速やかに上司、関係部署に報告しましょう。



(行動基準4-1.会社情報の適時開示)

忙しく、時間がなかったので後回しにしました。

Q 営業活動が忙しく、時間がなかったので伝票の起票や経費の処理を少しだけ来月に回してしまいました…。

A 業務で入力されるデータを基に、財務諸表や決算書などが作成され、財務報告として開示されます。不正や故意はもとより、業務上の遅延や不注意などによる誤ったデータに基づく財務報告は、ニッポンハムグループへの信用、信頼を著しく失墜させます。企業会計原則には「真実性の原則」が定められており、収益の計上は「実現主義」、費用の計上は「発生主義」によるものとされています。それらを厳格に守り適正な経理処理を行うために、すべての役職員は書類や情報を遅滞なく、正確かつ迅速に提出しなければいけません。



(行動基準4-2.正確な記録の作成・報告)